
令和5年度第2回福祉のまちづくりモデル地区推進部会 議事録

令和6年3月26日(火) 14:00~14:40 大宮区役所 4階401会議室

出席者 : 中津原部会長、新井委員、鈴木委員、田中委員、宮澤三夫委員、山口委員

欠席者 : 伊藤委員、井上委員、臼井委員、宮澤厚志委員、

関係団体 : 家田(さいたま市社会福祉事業団)、塩澤(社会福祉協議会)

事務局 : 竹内、上原、福原、戸村(福祉総務課)

会議の公開 : 公開

傍聴人 : 1人

問合せ先 : 福祉局生活福祉部福祉総務課 048-829-1254

※敬称略

【次第】 1 開会

2 議事

- (1) 令和5年度福祉のまちづくりモデル地区推進事業について
- (2) 令和6年度福祉のまちづくりモデル地区推進事業(案)について
- (3) その他

3 閉会

【内容】

1 開会

事務局 挨拶(省略)

中津原部会長

2 議事

(1) 令和5年度福祉のまちづくりモデル地区推進事業について

事務局 資料1の説明(省略)

中津原部会長 事務局の説明について何かご意見・ご感想はありますか。実際に事業に参加されていた委員も何名かいらっしゃいますが、山口委員はいかがですか。

山口委員 従前から知的学習については、障害の特性上、まち歩きには馴染まない部分があるとお伝えしていたが、今年度は、その意見を反映していただいてよかったと思います。その分、まち歩きにおいて、児童も他の障害を学ぶことができたので、児童にとっても有意義になったのではないのでしょうか。また、学習発表会については、とても工夫がされていて、分かりやすく素晴らしかったが、1つ1つのグループの発表時間が短かった点は少し残念でした。発表グループをもっと絞って、1つ1つの発表時間を確保してもいいかもしれな

いと思いました。

中津原部会長 昨年度はブースごとに各グループが一斉発表ということで、なかなか発表が聞き取りづらい面がありました。一方で、今年度はステージでの発表ということでその点は改善されたと思いますが、時間が限られてしまったという面もありました。宮澤委員はいかがでしたか。

宮澤委員 まずは、児童たちが頑張っていて活動していたというのが感想。発表の形式は昨年度よりも今年度のステージ上での発表の方が聞きやすくてよかったです。

中津原部会長 鈴木委員はいかがですか。

鈴木委員 市役所が準備してくれた耳栓が大人用サイズだったため、うまく児童の耳に合わず、音が聞こえてしまっていたようでした。来年度は、子ども用の耳栓が用意できるといいと思いました。また、手話に比べると、要約筆記がまだ浸透していないと感じましたので、引き続き普及啓発に努めていきます。

中津原部会長 私もまち歩きと学習発表会に参加しました。今年度の小学校付近の道路は、かなり坂道が多く、児童も自分たちのまちにバリアがあることを実感していたようです。また、学習発表会において、市役所のみなさんに要望というかたちで、児童の一生懸命考えた提案を伝えていたのが印象的でした。すぐに反映できるものではないと思うが、少しでも何か反映できるものがあればよいのではと思いました。

社会福祉協議会と社会福祉事業団も参加されたと思いますが、いかがでしたか。

社会福祉協議会 高齢者学習の担当をさせていただきました。児童たちが学習やまち歩きを通じて、しっかりと高齢者のことを理解してくれたと感ずることができました。また、地区社会福祉協議会と民生委員さんと一緒に活動のサポートを行う中で、互いの情報や意見交換の場にもなり、大変貴重な機会になりました。

社会福祉事業団 私はふれあい学習とさいたま新都心のまち歩きに参加しましたが、5年生の児童たちが想像以上に、障害やバリアフリーについて自分たちなりにしっかりと考え、質問などを行っている姿に非常に感心しました。児童たちにとっても大変良い機会になっていると感じました。

中津原部会長 新井委員はいかがでしたか。

新井委員 小学校周辺のまち歩きに参加しましたが、児童たちが興味を持って歩いている姿が印象的でした。女子児童で、聴覚障害者の方と初めてやりとりしたことで、コミュニケーションの方法としての手話に非常に興味を持った子がいました。そのような児童が今後も興味を

持ち続けてくれると嬉しいなと思いました。

田中委員 私は参加できませんでしたが、このような取り組みは非常に重要だと思います。さいたま市は広域のため、どこを対象にモデル地区として強化していくべきか等を視野に入れて活動ができるとよいと思いました。

中津原部会長 それでは、次に移りたいと思います。

(2) 令和6年度福祉のまちづくりモデル地区推進事業(案)

事務局 資料2の説明(省略)

中津原部会長 来年度は、岩槻区の太田小学校ということです。学校周辺はその地域ならではの特色があると思うので、それを活かしたコース設定を検討していただければと思います。学習の開始時間や発表会の形式等、事務局の説明について何かご意見はありますか。

新井委員 対象となる4年生のクラスに、特別支援学級の児童が何人か含まれることになると思われるが、その子たちについても、周りの児童も知って、理解してもらえるような雰囲気づくりが必要だと思います。開始時間については、学校側の授業の都合があると思うので、学校優先で決めていただいて構わないと考えます。

山口委員 私どもの団体のメンバーは、障害のある子の親たちなので、朝、子どもを送り出す必要があり、開始時間が早いと対応しづらいという面はあるが、やはり優先すべきは学校側の都合だと思うので、1時間目に合わせての開始となったとしても、できる限り対応したいとは考えています。

宮澤委員 学習発表会の形式については、それぞれ長短あると思いますが、今年度のようなステージ上での発表がよいと思います。

社会福祉協議会 発表の形式について検討する事項として、「5つの特性ごとの発表とするか、または、特性に限らず、将来自分たちのまちがどうなってほしいか、というテーマとするか」と記載してあるが、どのような意図があるのか。

事務局 ふれあい学習やまち歩きを通じて、それぞれが主に1つの特性に対する理解を深めることが基本にはなるが、児童によっては、複数の特性のグループを経験するケースもあります。そのため、発表会においても、属性ごとの発表に限定するのではなく、「自分たちのまちがどうなってほしいか」というような、いわば、フリーテーマのようなかたちで発表してもよいのではないかと意図で検討事項として記載しております。

中津原部会長 これについて、ご意見ありますか。

- 宮澤委員 どちらとも言い難いですが、それぞれが中心に学んだ属性に応じて、発表をするほうがよいのではと思います。
- 新井委員 どちらのパターンもありだと思います。ただ、あまりにも発表テーマに偏りが出るとなれば、事務局の方で調整してあげたほうがよいと思います。
- 鈴木委員 テーマについては、自由でよいと思います。
- 中津原部会長 今回の段階で無理にどちらかに絞る必要はないかもしれません。学校の意向等を確認しながら、発表方法についても検討していただければと思います。

3 閉会

以上